

神路の由来

音訓混合なので、この読みに至るにはちょっと難しいと思います。「じんろ」だったり、「かみろ」だったり、は簡単に思いつくかもしれませんが、「かみじ」はちょっと変則的です。この名前は昔、神路村であったこの地域を通る暗越奈良街道(国道308号線)が神武東征のルートにあたるとの伝承に由来します。

神武東征



磐余彦尊(神武天皇)が日向を発ち、奈良盆地とその周辺を征服して、はじめて天皇位についたという一連の説話をさす用語(出典：Wikipedia)

暗越奈良街道

大阪から東へほぼ一直線に伸びる、奈良までの最短の街道(生駒山超え)で、奈良時代に難波と平城京を結ぶ道として設置された。また数ある伊勢参りの街道の一つでもある。大坂の玉造を起点として奈良の南円堂までの31kmです。(国道308号線)



東成区(神路校下)わがまちナイススポット)

(出典：大阪市ホームページ・東成区の都市景観資源)

熊野大神宮(くまのだいじんぐう)



東成区大今里4丁目16番48号

熊野大神宮の歴史は古く、聖徳太子の開創とされる妙法寺の鎮守社で、熊野十二所権現と呼ばれた。明治維新後の神仏分離で現社名に改めました。伊弉諾尊(いざなぎのみこと)ほか二柱を奉斎する旧大今里村の氏神で、用明天皇2年の創建と伝えられる。石山合戦の

際、兵火にあったが再建され、元和(17世紀前期)以降大坂城代就任と領内巡視の時は、必ず社参することを恒例とした社である。同44年(1911)旧東今里村氏神八剣神社を合祀。

東成区大今里4丁目16番50号

聖徳太子の創建と伝えられる。石山合戦で焼失した本堂は、享保年間(1716年頃)に再建された。近世国学の祖と言われる契沖が、延宝7年(1679)から元禄3年(1690)まで住職を務め、ここで「万葉代匠記」を記したといわれ、境内は大坂府の史跡に指定されている。

真言宗御室派密華山妙法寺(しんごんしゅうおむろはにつげざんみょうほうじ)



旧三井釦被服(きゅうみついはたんひふく)

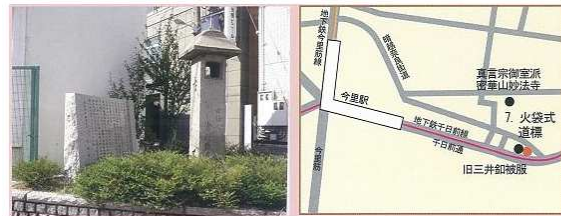


から現在の地に移築したといわれる。移設当時から被服製品の販売を行っていたが、後に改装して用途の転用を図っている。移築当時は、左右対称の建物であったが、左側部分が取り壊され、非対称となっている。

東成区大今里4丁目27番

暗越奈良街道と千日前通が交差する場所に立つ道標。上部を四角にくりぬいて火袋とし、上に笠をのせた形状をしている。文化3年(1806年)に釘問屋が建てたといわれており、道標には「右志き山、八尾久宝寺道 左いせ、なら道」と示されている。

火袋式道標(ひぶくろしきどうひょう)



千日前線 新深江駅(S21)

駅情報(時刻表・出入口周辺情報など)は[こちら](#)をご覧ください。

1969年(昭和44年)

7月25日：谷町九丁目駅 - 今里駅間(2.6 km)が開業。

9月10日：今里駅 - 新深江駅間(0.9 km)が開業。新深江駅が始発・終着でした。

12月6日：愛称が千日前線に決まる。

1970年(昭和45年)

10月1日：桜川駅 - 谷町九丁目駅間で1974年7月31日まで自動列車運転装置(ATO)の試験営業運転。

1981年(昭和56年)

12月2日：新深江駅 - 南巽駅間(3.0 km)が開業し全通。

当町会には1号出口(西側)と3号出口(東側)があり、始発は野田阪神方面(5:15)南巽方面(5:35)

終発は野田阪神方面(23:52)南巽方面(0:12)

平日朝ラッシュ時は約4分間隔、平日タラッシュ時は約5分間隔、平日日中と土休日のほぼ終日は7分30秒間隔(1時間あたり8本)、早朝・深夜は10分間隔で運転。

ちなみに、千日前線の路線カラーはピンク色！由来は歓楽街のネオンをイメージしたとのこと。沿線にはミナミのメインエリアにあたる歓楽街「千日前」があります。

